

第1章 ふくいの歴史・自然・人口編

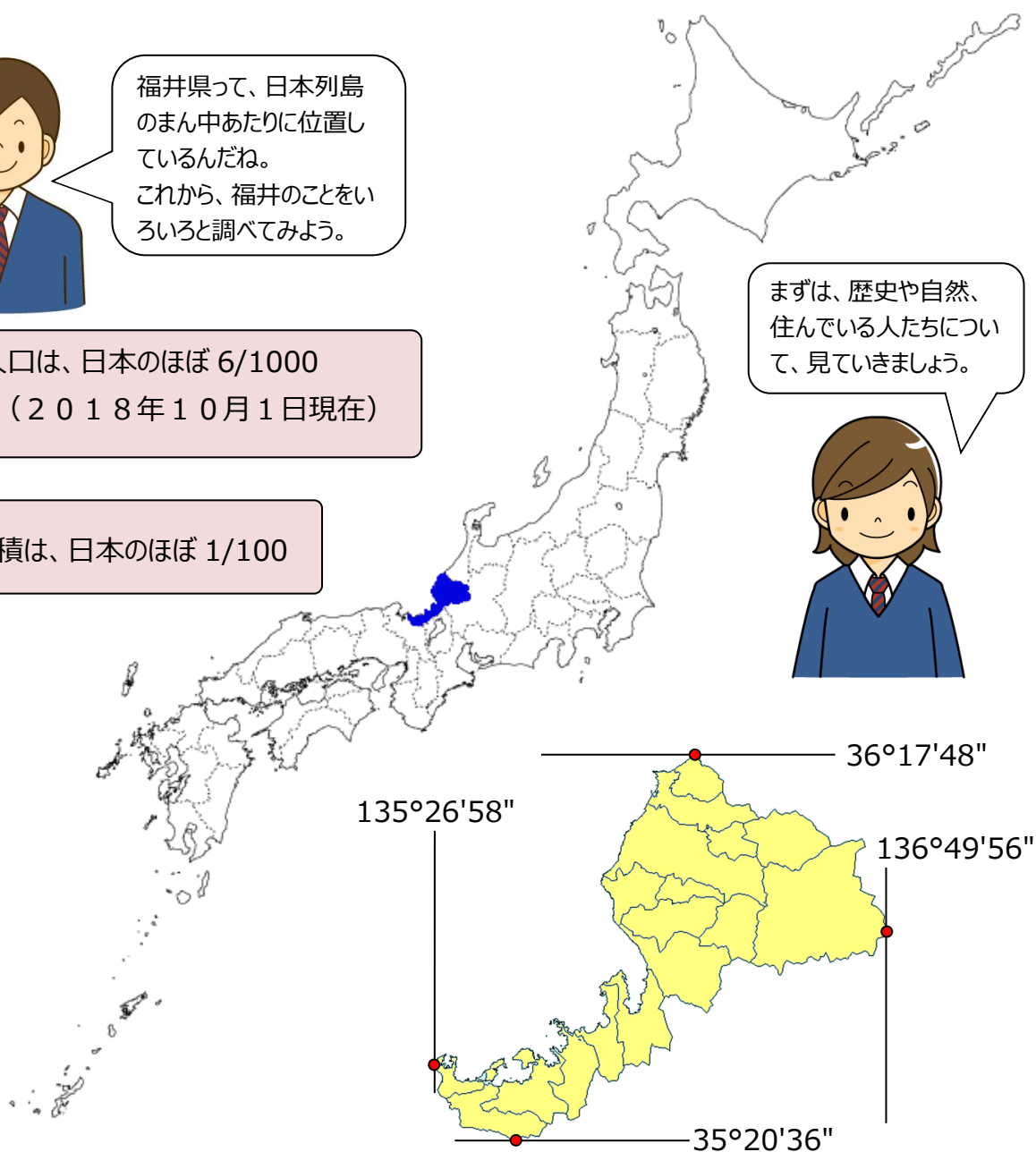


福井県って、日本列島のまん中あたりに位置しているんだね。
これから、福井のことをいろいろと調べてみよう。

福井県の総人口は、日本のほぼ 6/1000
773,731 人（2018年10月1日現在）

福井県の面積は、日本のほぼ 1/100

まずは、歴史や自然、
住んでいる人たちについて、
見ていきましょう。



福井県の東西南北端点の経度・緯度

	東端	西端	南端	北端
経度	136°49'56"	135°26'58"	135°42'03"	136°14'33"
緯度	35°51'33"	35°31'33"	35°20'36"	36°17'48"

※この四端の場所は P 7 を見てみよう。

出典：福井県の推計人口(福井県政策統計・情報課)
全国都道府県市区町村別面積調(国土地理院)
都道府県市区町村の東西南北端点の経度緯度(国土地理院)

1 今の「福井県」が誕生するまで

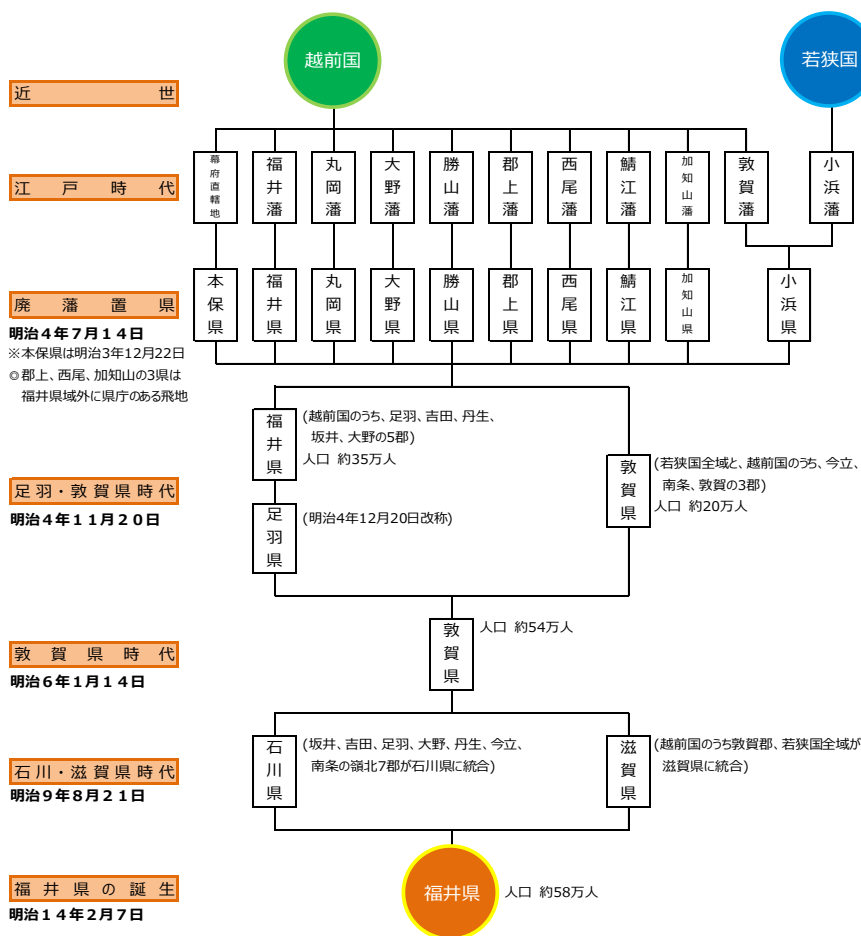
◎ 昔から「福井県」？・・・「福井県」は、138歳になりました。

現在の福井県は、昔の**越前国**と**若狭国**からなります。

江戸時代には藩政が敷かれ、**幕府直轄地**と各**藩**の領地に分かれていましたが、江戸幕府が滅び、明治4(1871)年に**廃藩置県**が行われました。

その後、**福井県**(のち**足羽県**)と**敦賀県**が誕生し、明治6年には、足羽県と敦賀県が統合され、敦賀県が誕生しましたが、明治9年に**石川県**と**滋賀県**に統合され、敦賀県は消滅しました。

明治14年に、石川県・滋賀県より、坂井・吉田・足羽・大野・丹生・今立・南条・敦賀・三方・遠敷・大飯郡が統合し、現在の**福井県**が誕生しました。



参考：「福井県史」

◎ 今の福井県は17市町・・・昔は1,990の町村があった！

年・月	福井県の市町村数				出来事
	市	町	村	計	
明治21年	0	248	1,742	1,990	「明治の大合併」※1
明治22年末	1	9	168	178	
昭和22年 5月	2	17	151	170	地方自治法施行
昭和28年10月	4	18	128	150	「昭和の大合併」※2
昭和36年 6月	7	21	13	41	
昭和46年 9月	7	22	6	35	「平成の大合併」※3
平成18年3月末	9	8	0	17	

資料：福井県市町振興課

※1「明治の大合併」

明治22年の市制町村制施行に伴う町村合併。教育、徴税、土木、戸籍等の行政を行うのに適した人口規模にするため、約300～500戸を標準規模として、全国的に実施された。

※2「昭和の大合併」

昭和28年の町村合併促進法施行および昭和31年の新市町村建設促進法による市町村合併。戦後、市町村の事務とされた新制中学校の設置管理を行うのに適した人口規模にするため、概ね8,000人を標準とし、町村数を約3分の1に減少することを目的として全国的に実施された。

※3「平成の大合併」

住民の日常生活圏の広域化や地方分権の進展に必要な行政基盤の強化を図るため、平成11年から全国的に実施された市町村合併。

◎キミは、いくつ知ってる？・・・これまでの福井県の出来事

	西	暦	和	年	号	出	来	事
古墳時代		507		継体	1	越前坂井で育った継体天皇が即位(『日本書紀』)		
奈良時代		749		天平勝宝	1	東大寺莊園として足羽郡道守庄など越前国各地を占定		
平安時代		806		大同	1	坂上田村麿呂、明通寺創建		
		996		長徳	2	紫式部、越前守に任ぜられた父 藤原為時の越前国赴任に同行		
鎌倉時代		1243		寛元	1	道元、越前志比庄に来る。翌年、大仏寺(後の永平寺)を創建		
室町時代		1471		文明	3	朝倉孝景、越前守護に着任。本願寺蓮如、吉崎御坊を建立		
安土桃山時代		1574		天正	2	越前一向一揆が蜂起		
		1601		慶長	6	結城秀康、福井城を築城		
江戸時代		1653		承応	2	杉森信盛(のちの近松門左衛門)、鯖江の武士の家に次男として生まれる		
		1689		元禄	2	松尾芭蕉、おくのほそ道で福井に訪れる		
		1774		安永	3	小浜藩医 杉田玄白ら『解体新書』を出版		
		1848		嘉永	1	橋本左内、「啓発録」を著す		
		1862		文久	2	松平慶永(春嶽)、政事総裁職となり幕政改革を推進		
明治時代		1899		明治	32	敦賀港を外国貿易港として指定		
大正時代		1920		大正	9	第1回国勢調査実施。福井県の人口59万8,029人(※注)		
昭和時代		1932		昭和	7	福井市に世界初の人絹取引所を開設		
		1945		昭和	20	福井、敦賀に空襲		
		1948		昭和	23	福井地震(マグニチュード7.1、全壊家屋33,000余戸、死者3,800余人)		
		1962		昭和	37	北陸トンネル開通(敦賀・今庄間、全長13.87km)、北陸線敦賀・福井間が電化		
		1968		昭和	43	福井国体開催		
		1969		昭和	44	日本原電敦賀発電所で臨界式		
		1980～81		昭和	55～56	56豪雪(全壊家屋384棟、死者15人)		
平成		1997		平成	9	ロシアタンカー「ナホトカ号」重油流出事故		
		2000		平成	12	福井県立恐竜博物館が開館		
		2004		平成	16	福井豪雨災害発生		
		2014		平成	26	舞鶴若狭自動車道が全線開通		
		2015		平成	27	第20回国勢調査実施。福井県の人口78万6,740人(国勢調査で80万人を下回る)		
		2018		平成	30	平成30年豪雪		
		2018		平成	30	福井しあわせ元気国体・障スポ2018 開催【天皇杯・皇后杯の獲得】		

(※注)昭和33年に岐阜県に編入した旧石徹白村の分は含まれていません。

【北 端】

あわら市北潟砂丘北端(見当山北750m)

◎キミの住む地域はどこ？

福井県行政区画図

9市8町(2018年3月31日現在)

【西 端】

大飯郡高浜町鎌倉西北500m



【南 端】

大飯郡おおい町名田庄染ヶ谷東南2,000m



【東 端】

大野市油坂峠東南1,550m



※越前国には、現在の岐阜県郡上市白鳥町石徹白地区も含まれていた。

雨天も多いが、恵みも多い 福井の豊かな降水量

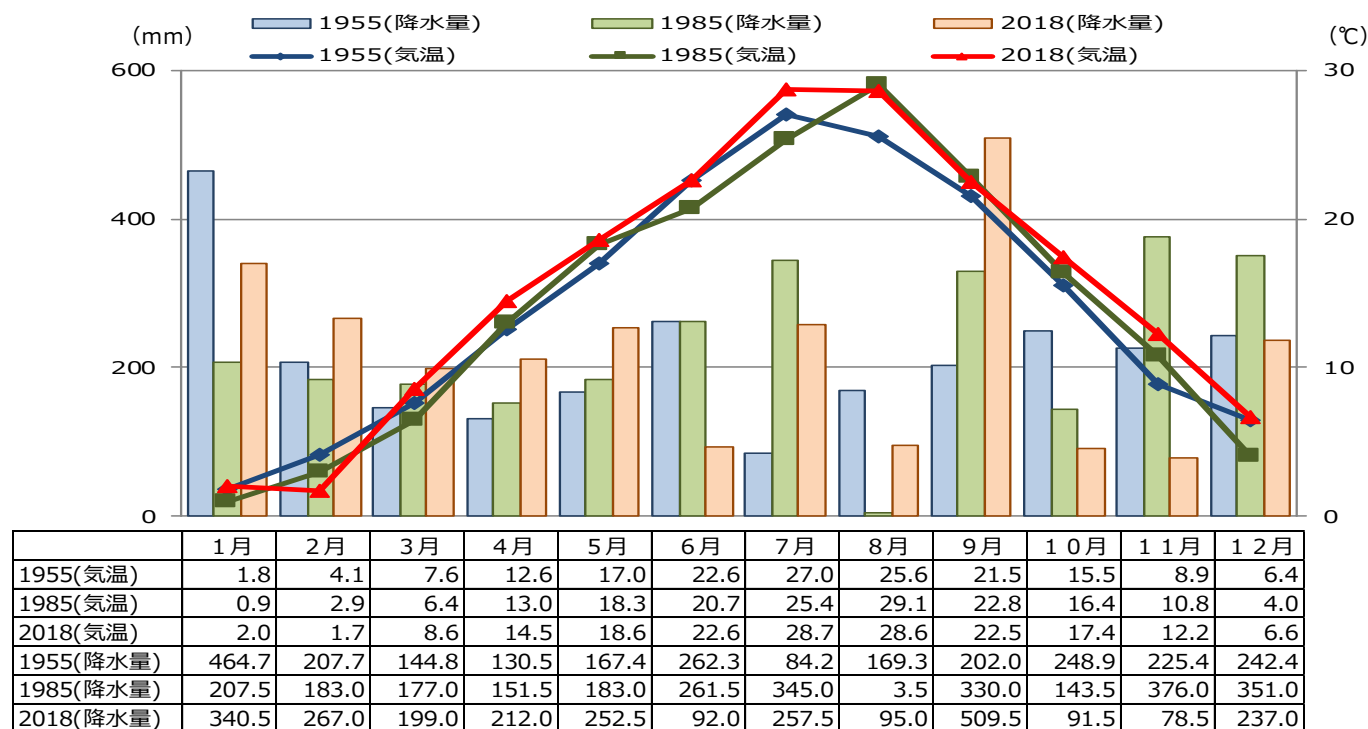


福井の平均気温は上昇しているね。
平均気温や降水量など、他県と比べて
みてもおもしろいかもね。

1985年には地球温暖化に関する世界的
な会議が初めて開かれたのよ。下のグラフはその
年を境に、前後約30年を調べたものね。



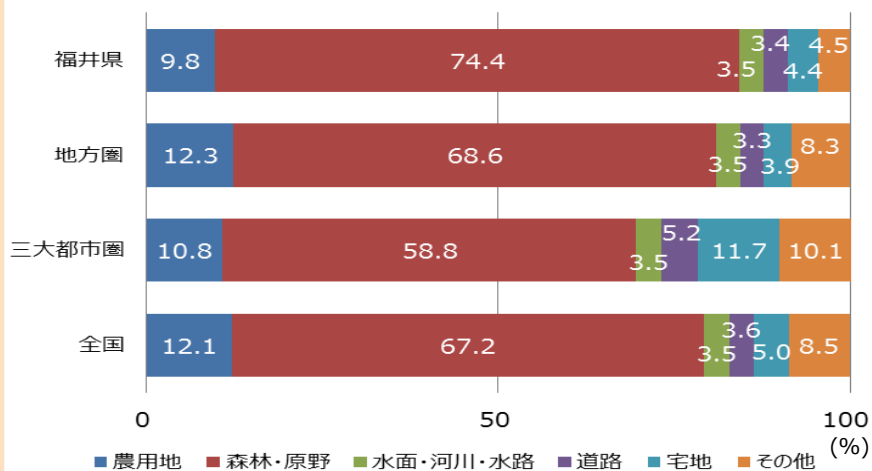
1955年、1985年、2018年の月ごとの平均気温と降水量(福井市)



※福井県は、県内全域が温暖湿潤気候であるが、冬季には日本海寒帯気団収束帯の影響を受けやすいことから、豪雪地帯に指定されている。 出典：気象庁

福井県の土地利用

土地利用構成の比較 (2011年)



1992年と2015年の土地利用を比較すると、総面積はほとんど変わらないけど、農用地が減って、道路や宅地が増えているね。

1992年と2015年との比較(福井)

	1992年	2015年
総面積	4188.3	4190.4
農用地	461.3	405.7
森林・原野	3141.0	3123.2
水面・河川・水路	146.6	145.4
道路	119.7	143.7
宅地	155.6	187.1
その他	164.3	185.4

※四捨五入により、計と内訳が一致しない場合がある

※三大都市圏：埼玉、千葉、東京、神奈川、岐阜、愛知、三重、京都、大阪、兵庫、奈良の1都2府8県

※地方圏：三大都市圏を除く地域

出典：土地利用現況把握調査(福井県土木管理課)

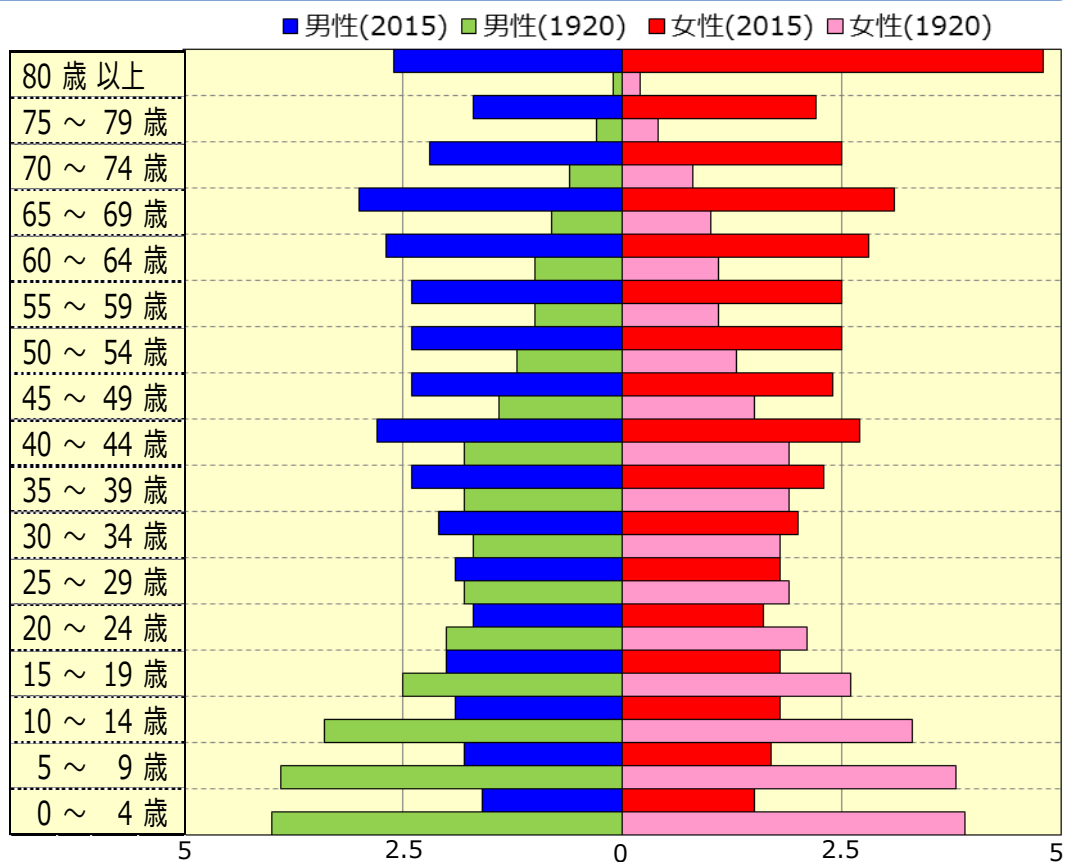
少子高齢社会をむかえる福井県



右のグラフは1920年と2015年の人口ピラミッド。形が全然違うね。少子高齢社会とどう向き合い、対策をしていくかを、ぼくたちは真剣に考えていかなければならないね。

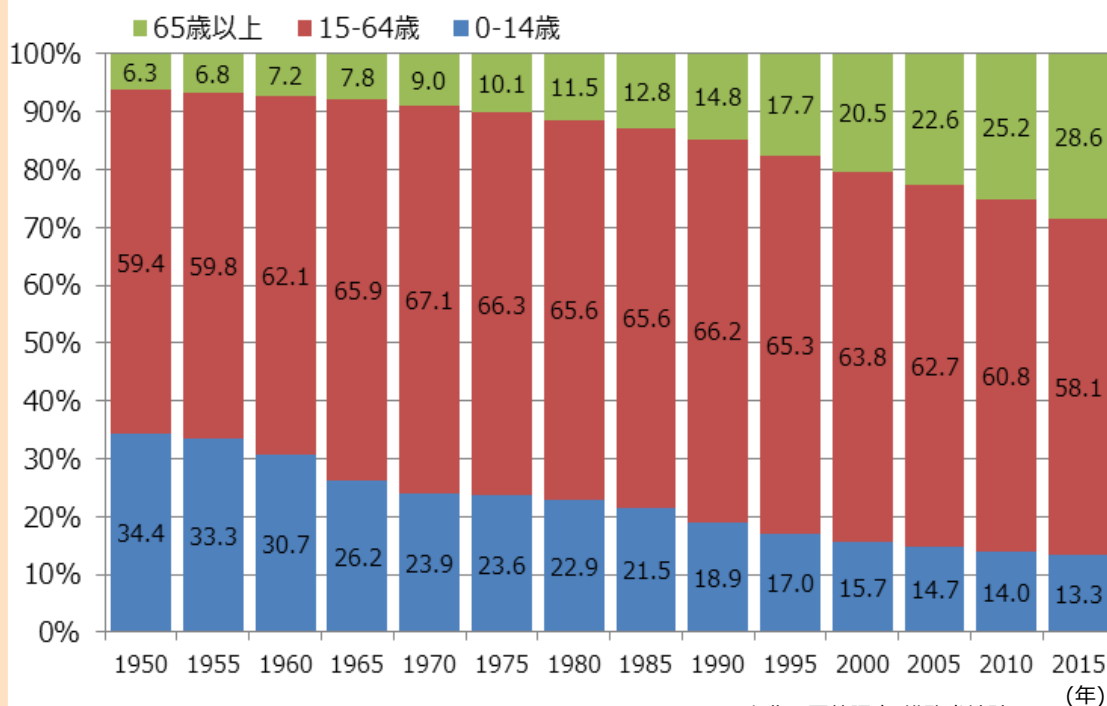


私たちの世代の人数は本当に少なくなっているんだね。なんでだろう？



※1 国勢調査とは、日本に住んでいるすべての人および世帯を対象とする国の最も重要な統計調査で、国や地方公共団体の政治・行政において利用されることはもとより、民間企業や研究機関でも広く利用され、国民生活に役立てられています。次回2020年国勢調査で、調査開始から100年の節目(第1回は1920年)を迎えます。皆さん、調査にご協力をお願いします。

福井県の年齢3区分別人口割合の推移

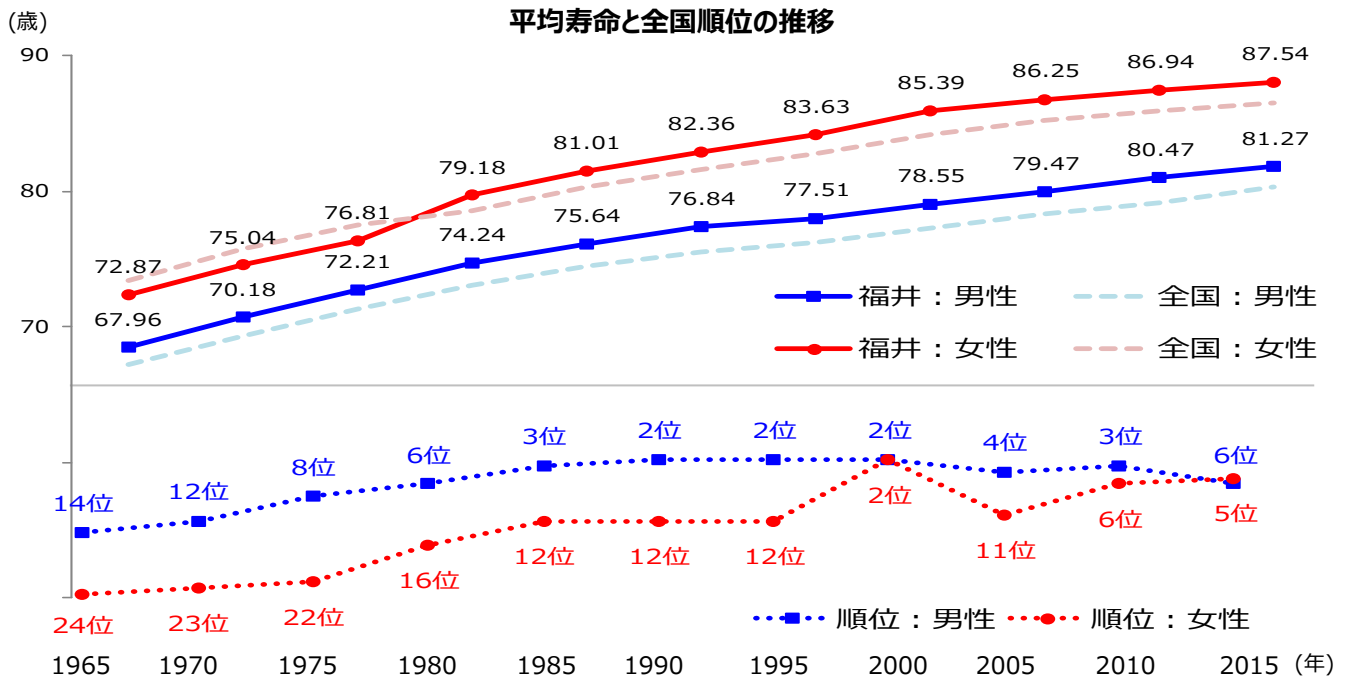


65歳以上の方の割合が増えているのに対して、他の2つの年齢区分の割合は減り続けているんだね。

高齢者の割合が増加しているのは、福井県の高齢者の方が長生きであることにもよるね。次のページを見てみよう。



福井県民は、長生き！～平均寿命トップクラス～

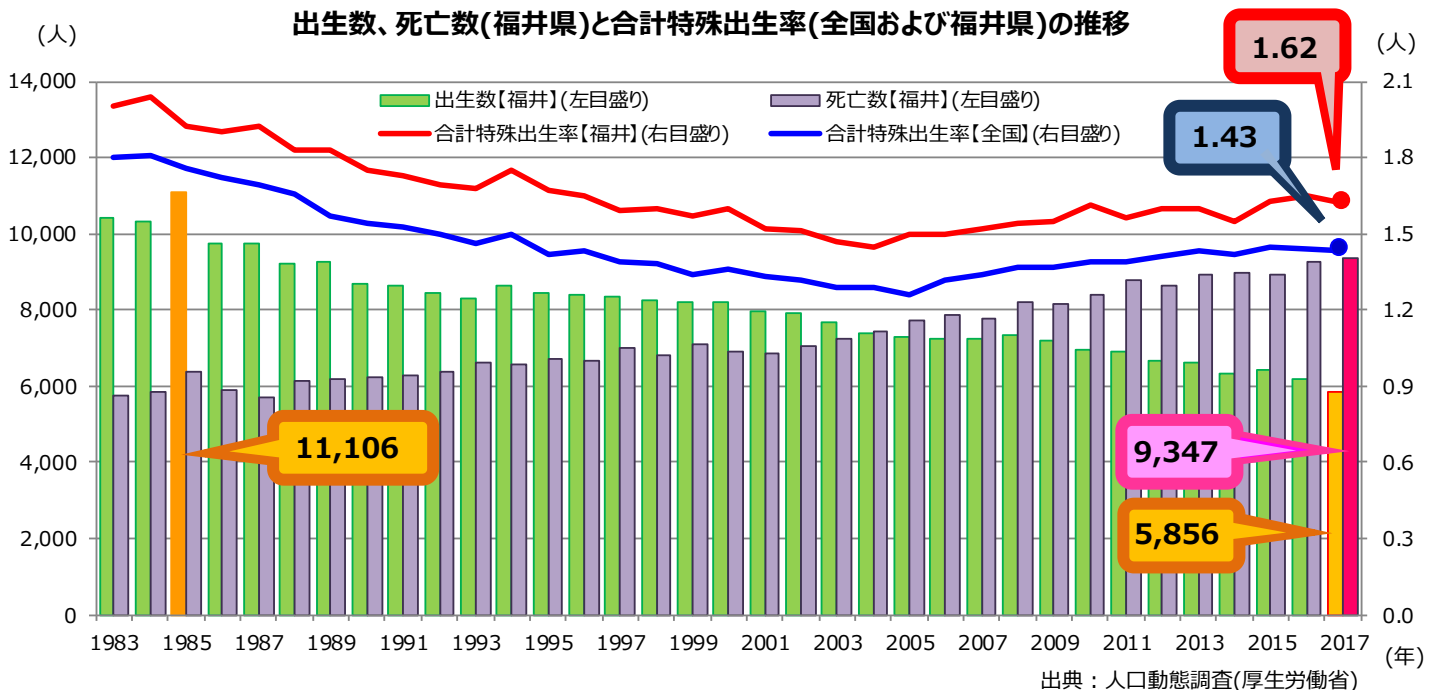


福井県の平均寿命は、男女ともに、全国平均よりも高い水準にあるんだね。順位もトップクラスを維持しているね。

全国においても平均寿命が延びているね。平均年齢が高いのはいいことだけど、前のページで見たように、若い年齢層の人口が減っているのが問題なんだ。



一生に何人くらいの子どもを産む！？



合計特殊出生率っていうのは、女性が一生の間で産む子どもの数を平均した値のことなんだよ。福井県は高い水準にあるね。

出生数は年々減少していて、死亡数は年々増加している。2004年あたりから出生数と死亡数が逆転し始めているんだね。人口減少の原因のひとつだね。出生数減少は、結婚年齢も関係してそうだね。



福井県への転入・福井県外への転出

右のグラフをみてみよう。社会増減数はほとんどがマイナス値だね。これも人口減少の原因だよ。

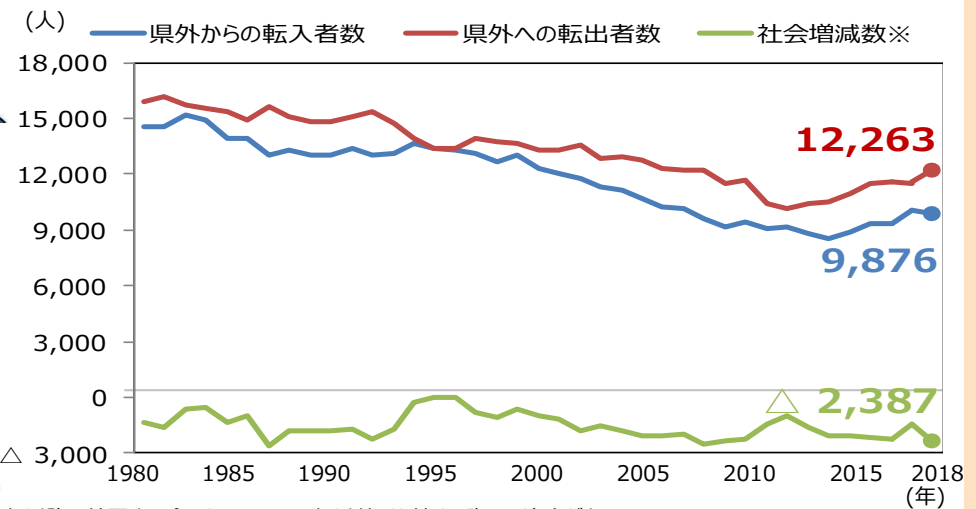


県外からの転入者は、ここ最近、増加してきているわ。何か要因があるのかしら。

UターンやIターンが関係しているのかなあ。福井県ではどのような支援が行われているのだろう。



福井県の県外からの転入者・県外への転出者と社会増減数の推移

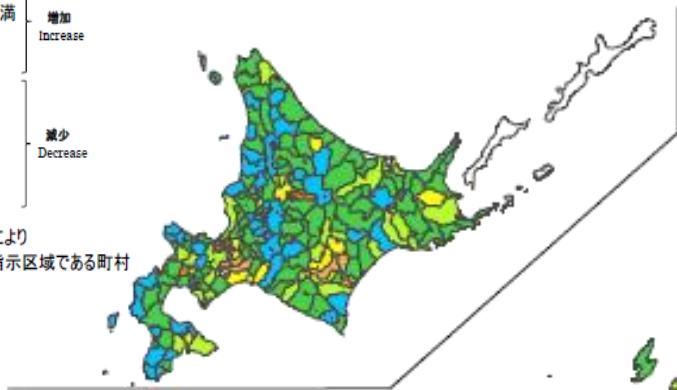
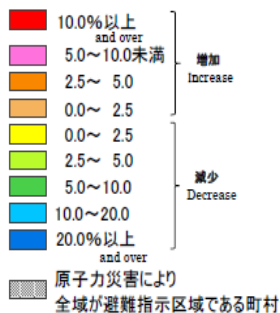


※ 2014 年以降は外国人を含むため、2013 年以前と比較する際には注意が必要。

※ 社会増減数=県外からの転入者数-県外への転出者数

出典：住民基本台帳人口移動報告(総務省統計局)

色でみる人口の変化



左の地図を見ると、地方は黄色や青、都市部は赤くなっているね。

各都道府県の市町村別に色分けしてあって、パッとみてわかりやすいね。



福井県を見てみると、青い箇所は少ないけど、緑や黄が目立つね。

福井県の人口減少を食い止めるには、どのような取り組みが必要かな。

